

1 モエン標準施工法

1-4 モエンの耐風圧性能

■高さが16mを超える場合（当社試験結果より許容風圧力を設定）

①木造

（負圧、単位：Pa）

留付方法 下地間隔（mm）	釘打ち	留付金具SP※1 （JE1570）	通気 留付金具SP※1 （JE1870）	ロング金具Ⅱ※1 （JEL570、570S）	通気 ロング金具Ⅱ※1 （JEL870、870S）
@500	1725	1850	2000	2100	2550
@455	1905	2075※2	2200※2	2305※2	2805※2

※1 金具は専用ビスで留め付け、エクセラード16mm厚品以上が対象。 ※2 下地ピッチ@500mm、@303mmの試験結果より計算で求めた値。

②鉄骨造

（負圧、単位：Pa）

留付方法 下地間隔（mm）	通気※1 留付金具SP （JE1870）	通気※1 ロング金具Ⅱ （JEL870、870S）	通気留付金具EX （JE825） ＋ ビス併用※1
@606	1700	2065	3250
@500	2060※2	2505※2	3700※2
@455	2265	2750	3900
@303	3400	4130	－

※1 金具は専用ビスで留め付け、エクセラード16mm厚品以上が対象

※2 下地ピッチ@606mm、@455mmの試験結果より計算で求めた値。

（通気）留付金具SP・（通気）ロング金具Ⅱの
施工方法は、P82～83をご参照ください。

■風圧力に対する施工方法対応表

地表面粗度区分Ⅲ地域 鉄骨造通気構法における施工条件

（下表の数字は平成12年建設省告示第1458号 閉鎖型建物、負圧、隅角部にて算出した、想定される風圧力です。適用工法の選定にあたり、建築条件等は再度ご確認頂き、風圧力を算出してください。）

●胴縁ピッチ606mm以下の場合

建物 高さ （m）	地表面粗度区分Ⅲ								
	基準風速 V0 (m/s)								
	30	32	34	36	38	40	42	44	46
45m超	施工不可								
45	1367	1555	1756	1968	2193	2430	2679	2940	3214
40	1304	1484	1675	1878	2092	2318	2556	2805	3066
35	1236	1406	1588	1780	1983	2198	2423	2659	2906
30	1162	1322	1493	1674	1865	2066	2278	2500	2732
25	1080	1229	1388	1556	1734	1921	2118	2324	2540
16m超え 20m以下	988	1124	1269	1423	1585	1757	1937	2126	2323

□ 通気留付金具SP (JE1870)、▨ 通気ロング金具Ⅱ (JEL870)、▩ 通気留付金具 (JE825)＋ビス併用

●胴縁間隔500mm以下の場合

建物 高さ （m）	地表面粗度区分Ⅲ								
	基準風速 V0 (m/s)								
	30	32	34	36	38	40	42	44	46
45m超	施工不可								
45	1367	1555	1756	1968	2193	2430	2679	2940	3214
40	1304	1484	1675	1878	2092	2318	2556	2805	3066
35	1236	1406	1588	1780	1983	2198	2423	2659	2906
30	1162	1322	1493	1674	1865	2066	2278	2500	2732
25	1080	1229	1388	1556	1734	1921	2118	2324	2540
16m超え 20m以下	988	1124	1269	1423	1585	1757	1937	2126	2323

□ 通気留付金具SP (JE1870)、▨ 通気ロング金具Ⅱ (JEL870)、▩ 通気留付金具 (JE825)＋ビス併用

注) 建物の階数や構造によって、必要な防耐火性能が異なります。必要な防耐火性能は別途ご確認ください。